



平成28年4月21日

ミャンマーの医療環境整備状況に関する現地視察事業

岡山大学は5月8日から、他団体並びに企業との産学連携によるミャンマーの医療環境整備状況に関する現地視察を実施します。

現在目覚ましい発展を遂げつつあるミャンマーは、民主化や政権交代など、国家レベルでの様々な新しい変化とともに、各分野への投資や協働に向けた支援活動にも注目が集まっています。特に医療分野においては、他のアジア諸国と比べて開発余地が多く、医療機器の導入や維持、修理といった、患者安全医療の水準向上に不可欠な技術分野での更なる支援が望まれています。また、そのような医療技術発展のための教育スペースの確保や体制整備など、医療人材育成の環境改善についても日々必要性が増している状況です。

その中で岡山大学は、日本の医療技術や各種機器に関するノウハウとそれらを1つに繋げる医療教育事業を特に重要と考えており、本学が築いてきたミャンマー医療界との関わりを基礎に、幅広く他団体・企業と連携・協働し、ミャンマー医療の更なる発展に貢献したいと考えています。まずはミャンマーでの現地調査を行い、ニーズ分析や状況認識を共有するための活発な意見交換を行う視察事業を計画・実施いたします。

1. 名 称 ミャンマーの医療環境整備状況に関する現地視察事業
2. 日 時 平成28年5月8日～12日
3. 場 所 ミャンマー連邦共和国
4. 視 察 団 体 岡山大学ならびに他団体・企業

<訪問先情報>

病院：5 教育機関：3 公的団体：2

<参加団体・企業情報>

団体：1 教育機関：4 企業：8

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
医療資源開発・学習支援環境デザイン学講座
技術職員 山下範之（ヤマシタ ノリュキ）
（電話・FAX）086-235-7519